

2015年度

愛泉苑ショートステイ
第3四半期施設事業概況報告
2016年3月31日現在

理事長	施設長	総主任	担当者

愛泉苑グループ理念
『助ける人なき人のためのに助ける人となる』

品質方針
『明るく暖かく清潔で、安全な施設作りを進め、利用者満足度の向上を目指し対人サービスの継続的改善を行います。』

施設概要

施設種別 併設型短期入所生活介護(介護予防含む)
事業所番号 1173800143
住所 〒347-0022 埼玉県加須市水深869-2
電話番号 0480-65-4122 FAX番号 0480-65-7028
設立認可 2000年(平成12年)4月1日(介護予防2006年4月1日)
施設建物 鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積 886.300㎡
居室の状況及び入所定員 多床室(3人部屋1室 2人部屋2室) 入所定員7人

【事業内容】

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来るように、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的として実施しています。

1、毎月の定例事項

行事	日程	内容	時間
礼拝	毎日	愛泉苑職員礼拝への参加	8:45~9:00
申し送り	毎日	全体スケジュール及び引き継ぎ確認	9:15~9:30 17:15~17:30
ケース会議	毎月1回	利用者処遇についての会議	14:00~15:00

2、加算項目

※ ○は入所者全員に係る加算。△は対象者のみに係る加算。

	加算項目	内容	単位数
○	サービス提供体制強化加算 I 1	介護職員の総数に占める割合が60%以上の場合	18
○	夜勤職員配置加算 I	ユニット以外で夜勤を行う介護職員又は看護職員の数が、最低基準を1以上上回っている場合	13
△	送迎加算	居室と事業所間の送迎を行う場合(片道)	184

3、品質目標

部門名	部門目標	達成度	目標達成のため努力した取り組み
ショートステイ部門	毎月ベッド稼働率を98%以上目指す。	88.59% 目標未達成	施設入所移行に合わせ、既存者や新規者の利用獲得をすすめ、胃瘻造設者やストマ管理者、喀痰吸引の必要がある方等医療的連携が必要な方の受け入れ範囲を広げるが、夜間帯は看護師が不在の為、緊急時等の対応に制限があり、施設職員のシフトに合わせ利用調整が必要であった。利用者が楽しみとして利用できるように、レクや行事企画の案内や参加時の様子を写真に撮り、家族も利用時の過ごし方が分かる様に配布し、利用継続して頂けるように取り組んだ。
	行事等のレクリエーション活動を充実させ、利用者が主体となり活動を通じて、満足して利用が出来る。	行事毎に参加時の様子を評価する他に、利用者からの評価を確認し、100%満足と達成	日常に必要な動作機能の低下予防の他に趣味や外出の機会を通じて手段的動作を用いて、出来ることを取り入れながら自立支援の自信回復へとつながる様にすすめた。

4、(a) 職員の配置状況 (併設型短期入所施設の為、愛泉苑に準ずる。)

NO	職名	常・非	氏名	資格	常勤換算
1	介護職	常勤		介護福祉士	1
2	介護職	非常勤		介護福祉士	0.8
3	介護職	非常勤		介護福祉士	0.7
4	介護職	非常勤		ヘルパー2級	0.5
5	介護職	非常勤		ヘルパー2級	0.6
6	介護職	非常勤		准看護師	1

常勤職員平均年齢	34歳	常勤職員平均勤続年数	13.8年
非常勤職員平均年齢	42.5歳	非常勤職員平均勤続年数	2.9年

(b) 採用者 なし

NO	職名	常・非	氏名	年月日
1				

(c) 退職者 なし

NO	職名	常・非	氏名	年月日
1				

(d) 異動 なし

NO	職名	常・非	氏名	年月日	異動先
1					

(e) 教育訓練

(i) 外部研修

主催	研修名	場所	月日	参加者氏名
埼玉県理学療法士会	理学療法士からみた腰痛予防	アスカル幸手さくらホール	7月12日	
まきば園	ハワイアンまつり	まきば園駐車場	8月29日	
埼玉県介護福祉士会	実習指導者講習会	さいたま共済会館	10月3日、8日、12日	
埼玉県社会福祉協議会	レクリエーション	彩の国すこやかプラザ	11月9日	
埼玉県介護福祉士会	実習指導者講習会	さいたま共済会館	11月28日	
埼玉県社会福祉協議会	苦情要望解決セミナー	彩の国すこやかプラザ	1月5日	
埼玉県歯科医師会	口腔ケア研修	彩の国すこやかプラザ	2月25日	
延べ合計			9日間	7名

(ii) 内部研修 (介護部門共通研修外で、在宅部門で必要な研修報告)

研修名	場所	月日	回数	参加人数
高齢者虐待通報の流れ	りんどうフロア内	4月16日	1	4
服薬管理について	りんどうフロア内	4月16日	1	4
認知症の理解	りんどうフロア内	6月17日	1	4
KYT訓練	りんどうフロア内	8月10日	1	5
感染症対策	りんどうフロア内	9月24日	1	4
口腔ケアについて	りんどうフロア内	10月21日	1	4
レクリエーションについて	りんどうフロア内	11月19日	1	4
ストマの対応について	りんどうフロア内	12月24日	1	4
接遇研修	食堂	1月25日	1	1
利用者の異変の早期発見と報連相	りんどうフロア	3月29日	1	4
延べ合計			10回	38人

5、実績と事業報告

(a) 実績

(i) 稼働日数の状況

(月平均98%設定)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
介護度別	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	58	64	63	59	63	25	30	29	34	36	29	525
	要介護2	85	76	73	78	86	80	70	93	75	63	66	913
	要介護3	15	16	5	6	19	49	38	45	55	75	71	447
	要介護4	29	38	31	44	39	28	33	27	36	16	12	13
要介護5	9	6	11	0	7	0	0	0	0	5	0	0	38
目標稼働日数	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	203	217	2562
当月利用日数	196	200	183	187	214	182	171	194	200	195	178	169	2269
稼働率	93.33%	95.85%	87.14%	86.18%	98.62%	86.67%	78.80%	92.38%	92.17%	89.86%	87.68%	77.88%	
四半期平均稼働率	90.89%			90.53%			87.78%			85.14%			88.59%

(ii) 今年度と過去2年間の実績達成率比較

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間の合計
2013年度	95.94	102.38	100.2	100.17	99.67
2014年度	101.79	99.34	99.47	91.33	97.98
2015年度	90.89	90.53	87.78	85.14	88.59

考察:

介護度が重い方は、体調変化に伴う入院退院を繰り返すことや、在宅生活が困難理由から入所移行者が続いた。その為、空床状況報告をケアマネに連絡し、既存者や新規利用者の紹介につなげる。しかし、介護度の軽度者が多く、家族意向としては、土、日曜日の利用が集中しており、平日はデイサービス、休日はショートステイで介護負担の軽減目的としての利用傾向が多かった。

対策としては、医療的連携が必要な方の受け入れとともに職員のスキルアップの向上に努めていく。現在、胃瘻造設者、介護士等による喀痰吸引の必要な方、ストマー造設者、の他に、筋委縮性側索硬化症を持つ病としている利用者の受け入れ等すすめている。又、当施設の入所申込み者の中で、入所順位が近くなった方のお試しショートの活用をケアマネや家族と連携し、すすめていく。

(b) 行事

調理企画:利用者が主体となり、調理をしてもらう。活動を通じて、楽しみや意欲性等を確認

行事	日程	時間	場所
チーズケーキ作り	4月15日	10:00~15:00	りんどうフロア
どら焼き作り	6月10日	14:00~15:30	りんどうフロア
あんみつ作り	7月16日	14:00~15:30	りんどうフロア
いも餅作り	8月12日	14:00~15:30	りんどうフロア
ほうとう鍋づくり	10月7日	10:00~13:30	りんどうフロア
七輪で焼き秋刀魚	11月11日	10:30~13:30	りんどうフロア
クリスマスケーキ作り	12月19日	10:00~15:30	りんどうフロア
焼うどんづくり	1月20日	10:00~13:00	りんどうフロア
カレーライスとスイーツづくり	2月27日	10:00~12:30	りんどうフロア

外出企画:心身機能面での低下予防として、地域資源を活用し、能力の確認

行事	日程	時間	場所
ショッピングツアー	9月4日	14:00~16:45	菖蒲モラージュ
七輪で焼き秋刀魚(利用者と買い出し)	11月11日	10:00~11:00	菖蒲モラージュ
焼きうどん食材購入	1月20日	10:00~11:00	菖蒲モラージュ

6、利用者の状況

2016/3/31現在

(a) 利用者の年齢	平均 86.78歳	最高年齢 96歳	最少年齢 68歳
------------	-----------	----------	----------

(b) 利用者の介護度	平均 2.22
-------------	---------

(c) 利用目的

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1、引きこもりからの低下予防	0	0	0	0	1	2	1	3	0	1	0	0	0	0	2	6
2、介護者の負担軽減になるため	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	1	3
3、家族が不在になるため	0	0	0	0	1	7	0	7	1	1	0	0	0	0	2	15
4、在宅での生活が困難なため	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	2	3
合計	0	0	0	0	2	9	1	13	1	4	2	1	1	0	7	27

(b) 受入れ実施地域者数

加須市	久喜市	県内 合計	県外	総合計
33	1	34	0	34

7、事故の状況

(a) ヒヤリハット区分について

転倒	転落	ずり落ち	骨折	褥瘡	皮剥け	内出血	異食	誤嚥	誤薬
551	52	4	0	0	6	7	5	33	2
スキントラブル	入浴事故	爪はがれ	その他	合計					
0	0	0	28	688					

考察

転倒、転落、ずり落ちについて

職員が支援ポイントの理解や日常の体調や心理面をしっかりと観察し対応しなければ大きな事故とつながる利用者が増えてきている。その為、状態変化に合わせ家族や職員、他事業所間での支援内容等情報交換が重要で、トータル的支援の重要性が挙げられる。

誤嚥について

咀嚼や嚥下能力に合わせ、食事形態の見直しや、自宅においての食事の支援として、希望者には利用終了日にお持ち帰り弁当の提供を行い、誤嚥予防の他に、家族に食形態の工夫など意見交換を行っている。又、疲労に伴う食欲低下者やむせこみやすい利用者もいるので、姿勢の確保や離床時間のコントロール、食べやすさの工夫として自助具の紹介やお膳の高さなど個々に合わせ安全性となるべく自力で摂取出来るように工夫をしている。

(b)事故区分について

転倒	転落	ずり落ち	骨折	褥瘡	皮剥け	内出血	異食	誤嚥	誤薬
5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
スキントラブル	入浴事故	爪はがれ	その他	合計					
0	0	0	1	7					

利用者の事故対応について

入院	通院	処置	異常なし
1	0	0	6

入院を伴う大きな事故(1件)

女性 介護度4

5月20日午後8:30夜勤者が洗濯業務の為20分間フロアから離れ戻ると、利用者がトイレに行こうとして、ベッド脇で転倒しているところを発見。事故後の症状としては、やや痛みはあるが、腫れや赤みなどはなく、日常生活動作においても変化がなかった。21日、電話にて家族へ状況説明を行い、謝罪後経過観察をする。22日、自宅に戻り、再度家族に謝罪と状況説明を行い、痛みが残るようならば受診をすすめる。23日、家族にて病院に受診。結果、左大腿部頸部骨折と診断を受け、1ヶ月程術後のリハビリも兼ね入院となる。退院後は、病院から施設での受け入れを行い、機能動作の低下予防や精神的負担の緩和の支援をすすめて在宅復帰となる。

再発防止としては、①利用者中心の安全配慮意識を高め、利用者の行動把握に重点をおく。②フロアを離れての夜間業務の改善を行う。③訪問調査時に心身状態や転倒リスクのある場合、事故予防として細かく対応の確認など話し合い、他フロアと連携し対応を行う。④転倒リスクがある方に、行動把握の補助器具として離床センサーを活用しているが、故障の有無やセンサーの感度、充電の確認など使用点検をする。⑤他フロアとの連携を行い、行動把握を強化する。

入院、通院、処置を伴わなかった転倒事故(4件)

女性 介護度4

11月11日21:20、転倒リスクの高い女性利用者が、ベッドから居室トイレに向かう途中バランスを崩し転倒。事故原因としては、事故予防策を関わる職員に伝えきれていなかったことで、行動把握が不十分となった。再発防止策としては、事故とつながりやすい利用者がある場合、申し送りや他フロアの会議で報告を行い、対策や協力体制を確認し合う。

女性 介護度3

2月1日15:45居室入口付近で仰向けで転倒していることに、他利用者の声で気づく。事故原因としては、以前自宅で右足を捻挫し、指先が外側に向き、すり足と歩行障害が見られていたが、観察から安全策の対応が話されていなかった。再発防止策としては、日々利用者の状態観察を行い、生活動線上の危険予知意識を高め支援が必要。

男性 介護度2

2月7日18:50利用者が椅子から立ち上がった際、ふらつき尻餅をつくように転倒した。事故原因としては、利用者は利用日数が浅く、担当者は関わりが初めてにも関わらず情報収集を怠った。再発防止策としては、日々状態変化をしていることを認識し、業務前に日勤者と夜勤者で記録や情報伝達をおこない、支援にあたる様に再確認をする。

男性 介護度2

3月9日12:45他利用者の介助中にロビーで椅子が倒れた音がしたため確認しに行くと、仰向けで転倒していた。事故原因としては、下肢筋力の低下があり、立ち上がりから歩き始めの動作時にふらつき椅子やテーブルの脚に引っかかり転倒したと考えられる。再発防止策としては、立ち上がり時に、腰や膝に負荷を掛け過ぎないように立ち上がりやすいように、椅子やベッドの高さを調整をする。又、席の位置等、歩行能力に合わせ、変更する。

考察:利用者の心身面での負担が大きく、在宅生活に大きく影響する。再度、利用者を中心とし、安心して生活が送れるように利用者の状態や体調の変化に随時目を配り、安全配慮が重要と考える。

8、職員の事故、病欠について

労災事故	人身事故	車輻物損事故	メンタル不調	その他	合計
0	0	0	0	0	0

9、苦情・要望について

利用者からの苦情・要望				御家族からの苦情・要望				合計
運営面	サービス面	その他	対処済み数	運営面	サービス面	その他	対処済み数	
0	1	0	1	0	0	0	0	1
関係機関からの苦情・要望				地域からの苦情・要望				
運営面	サービス面	その他	対処済み数	運営面	サービス面	その他	対処済み数	
0	0	0	0	0	0	0	0	

苦情要望内容(1件)

4月21日 女性 介護度1 自費の3000円で美容サービスを受けたが、本人のイメージに合わせたカットではなかった。

再発防止としては、①施設で予約聴き取り時、利用者から要望を受付書に記載して、カット時に美容師に伝える。②施設で手鏡を用意し、利用者と美容師間でカット途中や、終了時に見てもらい、コミュニケーションを深める。

考察:「身だしなみ忘れぬ気配り張り生まれ」という言葉通り、常に人との関わりの中で大切なことであり、気遣いの大切さを再確認した。

10、施設内整備・備品購入について

日程	整備内容・備品購入品	業者名	金額
9月25日	離床センサー(ベットコールケーブルタイプ1機)	日本エンゼル	40,800円
		合計	40,800円